

授業科目名	政治学特論（安全保障論）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	安全保障問題から観る日本と国際社会	担当者	和田 大樹			
講義概要	<p>【概要】この授業では、日本や国際社会が現在直面する安全保障問題を紹介し、なぜ世界では紛争が絶えないのか、なぜ日本は平和な状態を維持できるのかについて共に考えていきたい。特に東アジアの安全保障、日本の領土問題、国際テロ問題、自衛隊の役割、国連の安全保障体制、国際法の役割、地球温暖化、食糧問題、民族紛争、人口問題、海賊問題など多種多様な問題を取り入れ、授業の理解度を深めていきたい。また自衛隊や警察を中心とする公務員志望の学生もいると思われるので、その学生の実益に繋がるような授業をする予定である。</p> <p>【到達目標】安全保障における知識を深めるとともに、国際問題を学ぶことにより国際的な感覚、国際的な視野を身につけてほしいと考える</p>					
履修条件	政治的、国際的な問題に少しでも関心、興味があるもの。					
教科書・参考書	<p>【参考書】</p> <p>・新訂第4版 安全保障学入門 亜紀書房</p>					
授業回数	内容					
1	安全保障とは何か？					
2	安全保障の意味（国家の安全保障）					
3	安全保障の意味（人間の安全保障）					
4	国家の侵略（国家間戦争、第二次世界大戦、冷戦、湾岸戦争などを事例に）					
5	日本の安全保障（北方領土問題、竹島問題、尖閣諸島など日本が抱える領土問題）					
6	東アジアの安全保障（日米同盟、中国の軍事力、北朝鮮問題）					
7	米国の安全保障（米軍の世界的配備、米国の外交・安全保障政策）					
8	大国間関係（米中、米露、米印、印中、中露関係など）					
9	国際テロリズム（世界的なテロ情勢、アルカイダの役割とネットワークの拡散化）					
10	核兵器、大量破壊兵器とその拡散化（北朝鮮・イランの核問題、テロ組織による核テロリズム）					
11	エネルギー安全保障（日本のエネルギー安全保障、石油輸入と中東情勢）					
12	自衛隊の役割変化（国家の防衛、人道的な災害貢献・国連平和維持活動への参加）					
13	国際紛争解決における国際機関の役割（国連の集団安全保障、EU、ASEANなど地域機関の役割）					
14	地球温暖化と安全保障（地球温暖化・気候変動と内戦・テロ・戦争との関係）					
15	総合復習					
評価方法	評価（出席50%、レポート50%）。レポート執筆の際、コピーは厳禁で必ず引用文献を挙げる事。					
評価基準	評価基準については、出席回数・レポート内容を総合的に判断し、真剣に取り組んだと判断できる者に「A」を、出席回数・レポート評価で相当程度取り組んだ者に「B」、出席回数・レポート評価は十分とは言い難いが一定程度認められる者には「C」とし、不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	授業初回にどのような国際問題に関心、興味があるかについての簡単なアンケートをとります。その結果を講義に反映させ、また場合により若干ながらの講義内容変更はあり得ます。					